



【短歌】
楠瀬 兵五郎 選

子と孫の助けをかりてパズル解く正月料理にあきしひととき
大漁旗あげて賑はふ魚市に氷に詰めて黒鯛を買ふ
くれなるのみみぢは峡の陽に透けて金色の光われをつつめる
物部川くだる筏を数へみき祖母父母やさしく縁に涼みて
みそ壺の底に残れる筆の跡姑を思ひてやさしく洗ふ
うつすらと御在所山の頂に日のさし来る年新しく
あつあつの七草粥を食ぶる朝健やかなれと願ひてやまず
危ないと手を出したくなる幼子は吾れよりたしかな軽き足どり
訪問の市の職員に元氣だと告げて痛める腰を伸ばしぬ
初めての言葉「まんま」を言ひたりと告げる娘に心は足らふ
病棟を離れて歩むりハビリの妻と話しゆくはデートに似たり
安らかな眠りの顔は鮮やかに消ゆることなく眼裏にあり
梶ヶ森遠くに見える故郷のふもとの里まで雪降りにつけり
自らに画きし猪色赤く賀状に乙女の心伝わる
胆石の石も動かず20年尿路結石も癒えし父なり
くもの子がわが風呂の窓に棲みつきて五センチとなり再びの春
四季咲きのバラを貰ひて五十ねん人逝き時逝かして深む紅
手書きにてわれを労はる言葉あり孫の賀状を胸に抱きをり
おだやかな年の始めの宮の前健やかなれと只祈るなり
若ぎらの気骨はぐつと深まれりわれの想ひも容れてくるるか
成人の日我が創造主にわが気付き信仰の道へ入りし明るさ
晶子の歌に焦がれし遠き日を想うページを開く手は老いたけれど
行きずりの処女笑顔にいやさねぬよきことあれと思つ日の暮
みどり児の重さ温さを思い出す孫の嫁は吾に抱かせてくれぬ

門田 明子
高橋 章
竹村 咲子
北村佐喜子
公文 正子
松中 賀代
出原 久子
坂本 好
山崎かつみ
古川 安子
高野 和一
萩野多美子
公文多賀子
門田 喜美
小野寺朱実
小原 子川
大岸由起子
谷内 務
公文 千恵
武内 弘子
岡村 和躬
吉本 悦子
竹村 稔美
尾立 かよ

目覚むれば子も孫も居て初春の老いには嬉し揃うモーニング
花好きの吾が部屋に花切れ目なくうれしいかぎり嫁のたまもの
痛む足励まし歩むせまき庭懸命なるを亡き夫よ見よ
明日よりは今日が若いとラビットのジャケットを着て銀座を歩む
音信の途絶えたる君いつの日も健やかにあれひたむきにあれ
黒き髪白衣が揃いひげが居る教授の回診打ち合わせ前
バルコンの三つの鉢に咲く花をひとりの椅子にしみじみと見る
電線の唸りて揺るるした行けば片頬寒し一月四日
せんだんの実をこぼしつつ食む鳥を見上げてその実わが踏みてゆく
新年を遠くで一人迎える子「さみしくはない」声のみ近く
茶の木の中鳥瓜一つ見えかくれ孫たちの目の届かずにあれ
国の墓変わるうさぎのニュース聞く生れて十月の翔太いだきて
信などと危ふし危ふし言訳をせねばこのまま真実となる
心残すおさなご二人現身の痛みに耐えて逝きしわが夫
切った竹発酵させて叩きたる子らの手になる卒業証書
混雑の列車に乗りし若者は次々譲り最後に座る
時を待たず逸るは事を誤つと猛將盛親慎重の和歌
明け烏いづこに鳴くやひとときを寒の雨やむ天にひびけり
梢たかく蔓の葉榊色に沈む歳晩の日の今は安らに
くびれたる人參の土洗ひつつ幼より聞く弾む豆まき
飽食の時世にありてふと想う廃墟の中に飢えしかの日々
デラウエア時代遅れと葡萄の木新しき苗に植え替えてゆく
会ひたしとしみじみ思ふチャンづけで名前呼びにし同級生に
停まります右へ曲がりますもの言ふトラックわが前を行く
初なりの豌豆を山に持ちくるる娘夫婦も定年近し
老いひとり住むも安けし雪もなく空高く澄みこは南国
仮眠して春を待つもの絶えるもの鉢の蛙の夕べは鳴かず
咲く梅の中に飯食ふわれらにておづおづと来し鳥も自在に

横田直加子
山崎みどり
竹村 松子
法光院俊子
山崎 貴子
伊藤 清子
田村 房子
都築 初代
秋山 正美
佐々木真里
大石 信子
小野川恵仁
坂上のぶ子
古谷 由美
宮地 亀好
大利佳都香
岡林 華伝
三宮のり子
小松もとみ
町 耿子
安井 流水
森本真理子
大石紗智子
山下 弓枝
有沢 泰子
鍵山 みつ
佐竹 玲子
楠瀬兵五郎

俳句・短歌の応募は、企画課内広報委員会事務局まで。

香美市立美術館

アートの窓



パリ^{パリ}の風を追って

・パリに学んだ日本の画家たち

3月3日(土)～3月25日(日)

今回は、パリで活躍した日本人画家・平賀亀祐の作品を中心に、友人の藤田嗣治、ピカソ、ブラック、モ

リヤー二等の同時代の作家の作品、そして「芸術の都パリ」で学び、パリを描いた日本の画家たちの作品を紹介します。

パリで活躍した日本人画家といえば、藤田嗣治をあげる人が多いと思いますが、フランスでは平賀亀祐の知名度が高いかも知れません。

平賀亀祐(一八八九～一九七一年)は、三重県に生まれ、一九〇六(明治三十九)年に移民として渡米した後、サンフランシスコ美術学校カリフォルニア大学美術科で学び、卒業後、苦



『ピア街(パリ・メニルモンタンの古街)』平賀亀祐

勞して旅費を貯え、一九二五年に渡仏します。この時、資金面で援助した人が

土佐山田町新改の山本貞枝さんでした。

平賀亀祐の『古い巴里のまちかど』(一九五四年)の作品が、ル・サロンで日本人初の金賞ならびにコロッセを受賞、同年フランスより美術文化勲章を受章し、また学士院賞を贈られル・サロン会員に推挙されました。パリで画家として成功した平賀は、五十年ぶりで日本に帰国し、東京、大阪について恩人のいる土佐へ...

と、高知で回顧展を開催します。アメリカでお世話になった恩人(山本さん)に再会するためでした。この作品展がきっかけで、土佐山田町の井澤昭三医師は、平賀作品を収集し、パリの平賀画伯との家族ぐるみのおつきあいが始まっていきます。写真の作品は、井澤コレクションの中の一点で、当館に寄贈いただいたものです。

(館長・北 泰子)

公民館

だより

子どもたちが

マフラーの指編み体験

中央公民館主催事業として「あつたか指あみマフラーづくり教室」を一月二十七日、香北基幹集落センターで開催しました。

この教室は、子どもたちが毛糸を使ったマフラー作りを体験するもので、市内の小学生と保護者ら二十四人が参加し、思い思いのマフラー編みに挑戦しました。初めての指編みに苦戦していた子どもたちも、講師の高橋梅尾さんからの指導や参加者同士の教え合いで



夢中になって編む子どもたち

こつをつかみだすと、しだいにマフラーの形ができるようになり、「お兄ちゃんにプレゼントする」「家族みんなに編んであげたい」などと、二つ、三つと編みはじめると子どもも。マフラー以上に温かい雰囲気です。楽しい教室となりました。

お知らせ

参加しませんか

山田堰クリーンアップ

香美市にある2つの青年団、「香北町青年団」「土佐山田青年ボランティアサークルやいろ」が、合同企画として山田堰の清掃活動を行います。団員以外の方のご参加をお待ちしております。一緒に物部川をきれいにしましょう!

【日時】3月18日(日)

13時～16時

雨天中止(小雨決行)

ご不明な場合は市立中央公民館(☎53・2214)

へお問い合わせください。

【場所】山田堰北岸(物部川緑地公園)

用意するもの:軍手、その他ゴミ拾いの道具

図書館だより

物部分館



新着本の紹介

「大人向け」

- 大停電の夜に (源孝志)
- 絵本屋の日曜日 (落合恵子)
- バスジャック (三崎亜記)
- ボーイズ・ビー (桂望美)
- わくらば日記 (朱川湊人)
- ハル哲学する犬 (クオン・デウオン)
- シャルビユーク夫人の肖像 (ジェフリー・フォード)
- 行方不明者 (折原一)
- あなたの話はなぜまわりくどいか (矢幡圭吾)
- 「子ども向け」
- 夏の庭 (湯本香樹実)
- ひげねずみくんへ (アン・ホワイト・ヘッド)
- キップをなくして (池澤夏樹)
- めぐりめぐる月 (シャロン・クリーチ)
- きつねのどんわボックス (戸田和代)
- 聴導犬・美音がくれたもの (松本江里)
- 義足の口グシユート (被川学)

お知らせ

物部地区・巡回図書

物部分館では、図書館まで来られない方に少しでも本に親しんでいただけるよう、次の3カ所に図書箱を設置しています。ぜひご利用ください。

【設置場所】

- ・森本商店 (楮佐古)
- ・安丸郵便局
- ・日浦理容店 (岡ノ内)

おはなしくらぶ

読み聞かせのボランティアを募集しています。

主な活動は、

- ・年6回程度の図書館での読み聞かせ (第2、第4土曜日10時～11時)
- ・文化展での読み聞かせ
- ・定例会など

【申込・問い合わせ先】

物部分館 (☎58・2058)

おすすめの1冊



「絵本屋の日曜日」

(落合恵子 / 岩波書店)

すぐれた絵本は、子どもだけでなく大人を

も魅了します。子どもの本の専門店 (クレヨンハウス) をひらいて30年の絵本の目利きが、四季折々の思いをつづっていきながら、100冊の絵本を紹介しています。そのつどつどの思いに共感し、懐かしさ、清々しさを覚えました。人生のひらめきを与えてくれた1冊です。

60代女性 (物部町)

ペットもあなたの家族です 家族の一員として愛情と責任をもって

面倒をみてください

私たちが捨てないで

飢えて辛い思いをします。餓死や交通事故死も心配です。捨てられた周辺の方々に迷惑をかけることもあります。捨てられる仲間が生まれないよう、去勢などの家族計画をしてください。

犬の私たちが放し飼いにしないでください

放し飼いに、人にかみつ়事故を起こすことがあります。交通事故にあうことや、行方不明になることがあります。公共の場所や他人の土地をフンで汚してしまうことがあります。

猫の私たちがからのお願いです

トイレのしつけをしてほしいです。ご近所で用を足すことが減ります。交通事故や感染症の防止のために、できれば室内で飼ってほしいです。



近隣や周辺の方に迷惑をかけることなく、人とペットが仲良く、楽しく快適に暮らせるよう、皆様のご理解ご協力をお願いします。(健康づくり推進課)